

ふちもに情報局

vol. 28



2009. 12

活動情報

項目

- 活動情報
 - 11月のコメント-
- 油ヶ淵ホームページのリニューアル
- 安城市で取材しました
 - せせらぎ愛護会-
- 全国湖沼水質ランキング

←12/2 貞照院の紅葉。
境内に約10本のモミジ。数は少ないけど、いい味出しています。

ふちもに取材の帰りに碧南市の貞照院へ。県内で、最も好きな紅葉の穴場です。清楚な雰囲気のある境内に、紅葉が錦のカーテンを織り成していました。毎年、訪れるたびに「京都行かなくてもここで十分だね」と奥さん。この日に境内で見かけたご婦人からも同じ発言が。女性はお得感が好き？油ヶ淵から南へ約3km。来年の秋にいかがですか。11月末が見頃です。(川村)



11月のコメント

- ・引き潮。釣り人がのどかに糸を垂らしている。何時もこの位湖水がきれいになりたい。(下池西岸・流入農排)
- ・水かさ少なく川底が陸になつてた。そこには鳥の足あとが付いていた。(穂田川・法響橋)
- ・水深12cm。水量少なく、カモは泳げず歩いていた。(穂田川・中根橋)
- ・水量が少ないので測定に困る。(半場川・内浜橋下流右岸・流入都下)
- ・水量少ないひしゃくで川底すくう。空力ワニ一杯のなかに5個生きている。ザリガニの子供が1匹。(長田川・準道田川・上流)
- ・水量少ない。流速遅い。川底に茶黒い藻が繁茂している。堤防の草刈が終わっている。(半場川・準ハツ田川)
- ・前々日雨のため水濁り。漂着・浮遊ゴミ多い。(半場川河口碧南側)

油ヶ淵ホームページのリニューアル

油ヶ淵に関する情報発信の窓口となっている「油ヶ淵流域水環境モニタリング」のホームページを、来年4月から「油ヶ淵電子図書館(仮称)」として、全面的にリニューアルします。



<http://aburagafuchi.jp/index.html>

(現在のホームページ)

がちであり、皆様に多大なご迷惑をおかけしてきました。

今回のリニューアルでは、データ入力からグラフ・表作成までをオンラインで自動的に処理できるようにして公開のスピード化を図るとともに、新たに検索機能を追加して、より使い勝手のよいものとなります。

さらに、油ヶ淵の総合的な情報窓口にならわしい親しみやすいデザインへの変更や、クイズコーナー、写真館、モニターング体験記など、幅広い方に興味を持っていただけるコンテンツの充実を図っていきたいと考えています。

現在、来年3月の試験運用に向け、鋭意作業を進めていますので、皆様からの改善のアイデアや、掲載可能な写真・情報などをお待ちしています。

なお、リニューアルに伴いデータ入力方法なども変更されますので、来年2~3月に開催予定の調査結果報告会において説明させていただきます。また、参加団体紹介コーナーを充実させていくため、情報提供のお願いの文書をお送りしますので、ご協力ください。(川村)



イメージキャラクター名前を募集中です！



12月2日に安城市のせせらぎ愛護会さんを取材しました。

せせらぎ愛護会さんは榎前町公民館を中心に活動されています。近くには三河万

歳保存会練習場と八剣神社が、少し歩けば

樹齢約400年のクロガネモチの巨木があります。もととは、すぐ近くのせせらぎ散策路の掃除等の活動からスタートしたグループさんのこと。このせせらぎ散策路は湧水と明治用水の水が流れ、水車も回っています。

せせらぎ愛護会さんが受け持ってい



沓名さん 加藤(辰)さん
加藤(将)さん

られる調査地点は長田川付近の5地点。いつもは主に加藤(辰)さん、加藤(将)さん、沓名さんの3人で測定をしているとのこと。天気もよく小春日和のこの日も、3人の調査に同行させてもらいました。

この日の長田川の水は目で見たところ、かなりきれいな様子。例年、冬は比較的水質も良いとのこと。榎前町付近では下水道も少しずつ整備され始めており、少しずつ川の水質も改善が見られるとのことでした。地点60(問屋川)では20〜30匹近くのコイの群れと軽快に泳ぐ大きいナマスに遭遇。かなりの大きさの魚たちがたくさんいることに非常に驚かされました。ウナギやアユも見られることがあるとのこと。ウナギを捕る仕掛けは調査中にも、ウナギも見られました。地点58(榎前橋下流右岸)ではハヤの小魚の群れも観察できました。加藤さんたちが子供のころは、この辺りで泳いだりもしたとのことでした。採水後には長田川近くの田んぼに少し寄り道。この田んぼでは愛知県農林水産部との共同の取組として「水田魚道」を設置されている



田んぼへ川の水が自由に出入りできるように、田んぼと水路との間につけた「水の階段」

とのこと。話には聞いたことがありましたが、実物を見るのは私たちも初めてでした。夏頃には、実際にこの魚道を使って移動する魚の調査も実施され、フナ、ドジョウ、カエル、水生昆虫等が魚道を利用して移動していたのが観察されたとのことでした。

採水した各地点の水質を測定したところ、5地点のうち4地点でCODが4程度、透視度も100cm以上といった、かなりきれいな水質の結果が得られました。今回の取材では改善しつつある長田川の様子と多くの水辺の生き物や珍しい水田魚道を見る体験ができて有意義な取材となりました。(嶋田)



全国湖沼水質ランキング

環境省は11月27日に「平成20年度公共用水域水質測定結果」を発表しました。その中の全国の湖沼(COD)高濃度水域のワースト5は左表のとおりでした。ちなみに「油ヶ淵」は年間平均値6.7mg/Lで、全181水域のうちワースト16位であり、昨年度の7.5mg/L、11位から改善されています。また、COD平均値の平成18〜20年度と平成8〜10年度を比較した濃度差が上位2位となっており、全国でも有数の水質改善状況であることがわかります。

油ヶ淵の環境基準であるCOD基準値5mg/Lの達成を目指し、この傾向を維持していきましょう！(多賀)

【平成20年度 全国湖沼ワースト5】

- 1位: 伊豆沼(宮城県) / 2位: 北浦(茨城県)
- 3位: 春採湖(北海道) / 4位: 佐鳴湖(静岡県)
- 5位: 常陸利根川(茨城県)

油ヶ淵流域市民モニター ふちもに情報局 vol. 28

平成21年12月発行

発行
愛知県環境部水地盤環境課
調整・生活排水グループ
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1-2
電話
052-954-6219(タ・イヤルン)
Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp